

# MRI検査を受けられる方へ

## MRI画像診断および撮影

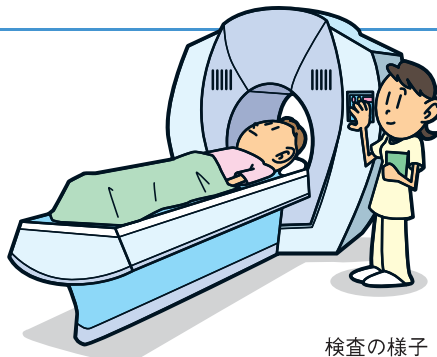
### MRI検査とは

MRIはMagnetic Resonance Imaging(磁気共鳴画像)の略です。強力な磁石と電波を使って身体の内部の状態を診る検査です。狭いトンネルの中で検査をします。電波をあてて、出てくる信号を読み取り、いろんな方向の断面画像を作ることが出来ます。

検査中、「ドンドン」「コンコン」という大きな音がしますが、磁場の高速切替えのために振動している音です。心配いりませんので、動かないで静かに横になってください。

身体を詳しく診るために腕の静脈から、造影剤(ガドリニウム・鉄製剤)を注射したり内服薬を使用することもあります。

検査室は強い磁力が発生している管理区域です。診療放射線技師の指示に従ってください。



検査の様子

### 検査にかかる時間

通常の検査時間は20分～30分程度です。また、身体を動かさない時間は、20分前後です。

詳しく診る必要がある場合には、撮影回数を増やし造影剤を注射する場合がありますので、検査時間が延びることがあります。担当の診療放射線技師にお尋ねください。

#### 禁忌事項:

次項に該当する方は、検査ができない場合があります。事前に主治医もしくは診療放射線技師にご確認ください。

- ✓手術により金属等が体内にある(ペースメーカー\*・人工内耳・血管ステント・動脈クリップ・人工関節・歯科インプラント等) ※一部対応可能な物もあります。
- ✓高度の閉所恐怖症
- ✓刺青、マグネット付き義歯をしている
- ✓妊娠または妊娠の可能性がある(妊娠3ヶ月以内)

以下のものは、取り外しいたください

- ✓ヘアピン、ネックレス、イヤリング、エレキバン、カイロ、入れ歯、指輪、財布等の金属類時計、眼鏡、補聴器、磁気カード類、携帯電話
- ✓マスカラ、アイシャドウ、アイライン、ネイルアート、コンタクトレンズ、湿布、ニトログラム、ニコチネル など



#### 来院前

- ・体外金属類の所持
- ・食事制限

体内および衣類の金属類などは検査の障害となります。禁忌事項を参照いただき、着替えやすい服装でご来院ください。造影検査の場合、午前の検査は朝食を、午後の検査は昼食を食べないでください。常用薬をご使用の方は、通常通り飲んでください。

#### 検査前

- ・予約時間15分前着
- ・体外の金属類を外す
- ・検査説明

カラダにあるアクセサリなどの金属類、エレキバン、使い捨てカイロなどは外していただきます。検査着に更衣が必要な場合もあります。診療放射線技師の指示に従ってください。造影検査の場合、喘息、アレルギー(食物、薬など)がある方は申し出てください。

#### 検査中

- ・静かにし動かない
- ・検査時間20分～50分
- ・ナースコールで連絡

撮影中は装置の中ですが、常に診療放射線技師が安全を確認しながら検査を進めます。大きな音とベッドの振動がありますが心配いりません。カラダを動かさないでください。息止めが必要な場合は、合図をしますので診療放射線技師の指示に従ってください。また、マイクを通して会話が可能です。気分がすぐれない場合は、手にお渡しする緊急ボタンでお知らせください。

#### 検査後

- ・生活に制限なし
- ・造影検査:水分をとる
- ・結果:主治医より

食事等、特に注意していただくことはありません。造影剤を使用した場合は、水分(お茶、ジュース、水等)をいつもより多くとるようにしてください。お薬は尿になって出ます。検査結果は担当医師から報告します。

※検査や治療の内容によって手順が異なる場合があります。主治医やスタッフからお話しされた内容をご確認ください。